

## ひろさきボランティアセンター登録団体の活動を紹介します!!

ひろさきボランティアセンターに登録いただいた団体の中から、「弘前日本語ティールーム」さんにインタビューさせていただきました。

### 弘前日本語ティールームさんへの質問



#### ・ボランティア活動内容をお知らせください。

2001年から活動開始。日本語を勉強したい外国の方に、テキストを使った日本語学習及び日本の文化や習慣、マナーなどの学習支援を行っています。学習者のニーズに合わせてマンツーマンで対応しています。また、外国に帰ってからも、希望すればオンラインでレッスンしています。

#### ・ボランティア活動を始めてみようと思った理由・きっかけは？

当時は、市内に外国人専用のアパートがあり、とかく閉じこもりがちな外国人留学生等の家族に外出してもらうことを目的に、料理実習などを通して相互の文化交流を図っていました。

#### ・ボランティア活動をやってみて感じたことは？

外国に行かなくても外国の方と交流できることがすばらしい。また、日本人との感覚の違いに驚きや新鮮さを感じてとても面白い。もっと、外国の方との相互理解や交流を深め、自分の国に帰った時に、日本や弘前に良いイメージを持ってもらえるように努めています。

#### ・ボランティア活動に興味を持っている読者に一言。

ボランティアは、楽しんだり面白くなければなかなか続かない。力を抜いて頑張りすぎないことが続けるコツかも。まずは、気軽に始めてみては。誰かの役に立つことは、自分自身の生きる力になります。

### 弘前日本語ティールームさんからボランティアを受けている留学生お二人にもお話を伺いました

#### ・お名前とご出身をお知らせください。

雫（ラク）さん 中国  
ユシャニさん スリランカ

#### ・どうして弘前日本語ティールームさんのボランティアを受けることになったのですか。

雫：日本語の学習支援を受けたくて、インターネットで検索したところ、弘前日本語ティールームを見つけてメールしたのがきっかけです。

#### ・日本語は上達しましたか？

雫：毎週レッスンしてもらって、だいぶ話せるようになりました。  
ユ：はい、上達しました。

#### ・ボランティアを受けて良かったことをお知らせください。

雫：日本の文化を知ることができました。また、日本語が話せるようになって、日本人の友達ができ、大学院の授業にも生かされていると思います。  
ユ：日本語を話す力がついたり、文法も前よりわかるようになりました。新しい友達もできました。



# 「弘前さくらまつり車いす応援隊」取材しました!! by高校生

社会福祉法人弘前市社会福祉協議会が、弘前さくらまつりで行うボランティア活動「弘前さくらまつり車いす応援隊」の活動の様子を、自ら応援隊としてボランティアに参加した高校生の鳴海さんに、取材していただきました。



4月19日から5月5日まで、弘前公園内で、車いすの貸し出しと介助を行う『弘前さくらまつり車いす応援隊』のボランティア活動が行われた。

ボランティア参加者は、午前9時から午後4時まで、車いすの貸し出しと介助、返却された車いすの点検などを行う。

参加者の年代は10代から60代と幅広く、特に高校生が多かったように感じられる。



利用者は日本全国に加え、外国からも訪れた。外国人利用者は全体の2割ほどだという。中には日本語を話せる人もいたが、そうではない人にも円滑に対応できるよう、英語のマニュアル等の用意や、研修での簡単な英会話の実践などが必要だと感じた。

去年に引き続き、今年も車いすを利用した方は、「いつこうして弘前公園の桜を見られなくなるかわからないので、何度も車いすを借りて来園している。直接見に来られるうちに見ておきたい。」と話す。ソメイヨシノや枝垂桜、八重桜だけでなく、植物園の緑の桜（御衣黄・ぎょいこう）も楽しんでいるという。

だが、来園するかどうかは天気や人出で決めているそうだ。人が多いと、通行の際に周りが避けてくれないことがあり、なかなか思うように移動できないと話す。



また、車いすのハンドルについているブレーキについて、ボランティア参加者と車いす利用者の両方に話を聞いた。

双方から聞かれたことはほぼ同じで、ハンドルにブレーキが無いと砂利道や坂を通るのが難しいという。

砂利の粒が小さいと車いすの車輪が沈み込んで動きにくく、粒が大きいと、多少走行しやすいものの尖った石ころを踏んでタイヤがパンクする可能性が高まる。

坂道を上るときは押し戻されないようにしっかりと車いすを押していくが、下るときは坂の傾斜に応じて進み方を変える。傾斜が大きければ、方向を変え後ろ向きに降りていく。

この活動に用意された車いすの大半は、ハンドルにブレーキが無いものだったが、すぐに貸し出せるようにテントの外に出している車いすはブレーキがついているものばかり。利用者が多い追手門ではブレーキ付きの車いすが残り少なくなることもあった。

ブレーキの有無とその問題に気づけたのは、このボランティア活動に参加したおかげだろう。片側通行を遵守したり、写真を撮る前に周りを確認したりして車いす利用者への配慮を実践していきたい。

一人一人の気遣いによって、弘前さくらまつりは、すべての人が桜を楽しめるより良い催しになるだろう。



参加者がこの活動を行なった理由は様々だったが、全員が前向きな気持ちでこの活動に取り組んでおり、テントの中では会話が弾んでいた。参加者、利用者問わず穏やかな良い時間を過ごせたのではないだろうか。

これからもこの取り組みが続き、弘前さくらまつりがよりバリアフリーなイベントになることを願う。



## ボランティアポイント制度始めました!!

ひろさきボランティアセンターでは、ボランティア参加のきっかけづくりと継続的な参加を応援するため、「ひろさきボランティアポイント制度」を開始しました。

ボランティア登録や制度説明会への参加などの条件がありますが、1時間の活動で1ポイントが貯まり、10ポイントごとに1,000円分の商品券と交換できます。

詳しくは、下記のURLまたはQRコードからご確認ください。

「ひろさきボランティアポイント制度」ホームページ

<https://www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/point.html>



# ひろさきボランティアセンターの

## 新メンバー(担当職員)を紹介します

4月からひろさきボランティアセンターに配属になりました楠美です。

3月までは会計課で市の經理に関する仕事を担当していました。そして、4からはボランティアセンターでボランティアに関する仕事を担当…。まったく異なる分野の仕事に携わることになり、不安や緊張もありますが、よろしくお祈いします。

「趣味は読書」と言えるほどたくさん本を読んでいるわけではありませんが、本を読むことが好きです。ジャンルはごくごく一般的な小説。しかも、デジタルではなく紙の本。本屋に足を運び、読む本をのんびりと探すことも好きです。

これからも、小さな楽しみを見つけ味わいながら過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお祈いします。

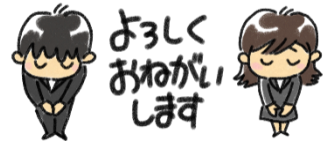


こんにちは。昨年10月から勤務している山口裕佳子と申します。

私が勤務しているひろさきボランティアセンターは、ヒロロ3階にあります。

ヒロロで開催されるイベントやおいしい物の出張販売に財布の紐が緩くなってしまいますが、ドーナツの販売が楽しみのひとつになっています。

さて、仕事の方はと言いますと、もう半年を過ぎたというのに、まだまだ職場の心やさしい皆さんに助けていただいている半人前なので、早く一人前になれるよう努めていきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈いします。



4月からひろさきボランティアセンターに採用になりました石橋淳子と申します。

ボランティアは、人と人が出逢い心と心が触れ合う素晴らしい機会だと私は思ひます。

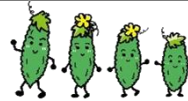
大人のボランティア活動の姿を見て、子供達は何かを感じ、心が育つと、将来優しい気持ちで社会にいっぱいになることでしょう。

皆様のお役に立てるよう頑張りしますので、よろしくお祈い致します。



## 豆知識

### ゴーヤ



最近スーパーや直売所で見かけるようになったゴーヤ。これからの季節は多く出回りますが、とてもこの時期に適した植物。苦みの元であるモモルデシンは胃腸粘膜を保護し、食欲を増進させる働きがあります。

元々は観賞用として輸入されたウリ科植物で、普段食している青い状態の物は、じつは未熟なまま食用として収穫されています。熟すと黄色になり苦み成分も消え、サクサクした歯ごたえも失われ柔らかくなります。苦みが少ないので、自分が直売所で販売していたころは熟した物目当ての方も。

また、観賞用としても季節に適していて、茂るのが早く葉もほど良く混むため、グリーンカーテンとしてプランターに栽培することもできます。ただし、実がそれなりの重量になるために、ネットはしっかりとしたものを選択したほうが。

当時、自分がゴーヤを直売所に並べていたころは、食べ方の質問や苦みに対する批判的な意見も聞こえましたが、今やメジャーな食材になりつつあるゴーヤ。栽培は難しい方ではありませんので、遮光資材兼、今晚の一品としておすすめで。



<制作>市民ボランティアスタッフ <制作協力>ひろさきボランティアセンター  
〒036-8003 弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3F ヒロロスクエア内  
TEL:38-5595 FAX:36-1822 HP:www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/  
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。